

エシカル商品の開発による災害復興支援

熊本県立 球磨中央高等学校

1 テーマ設定

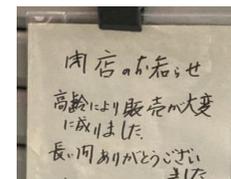
令和2年7月豪雨災害で、私たちの住む人吉球磨地域は壊滅的な被害を受けた。店舗やビルが解体され、多くの土地が更地になった。元々、事業主だった方も高齢のため、災害をきっかけに廃業され、更地のまま3年間が過ぎた。SDGsの目標11には「住み続けられるまちづくりを」という目標が掲げられている。私たちはSDGsの視点で「エシカル商品」を開発することで、豪雨災害の復興支援に取り組みたいと考えた。



令和2年7月豪雨災害



3年経っても中心部は更地



多くの老舗も閉店



SDGsの目標

2 企画・実践

(1) 障がい者支援施設とコラボしたお茶を使った商品

「しらぬいのフレーバーティー」

豪雨災害で被災した相良村の特産品のお茶と、被災した芦北町の特産品「しらぬい」を使って「しらぬいのフレーバーティー」という商品を企画、販売した。製造工程の一部を障がい者支援施設に担当していただいた。



(2) 障がい者支援施設とコラボしたお茶を使った商品「ChocoCha」

特産品のお茶を使ったチョコレート「ChocoCha」という商品を企画、販売した。こちらも障がい者支援施設に製造を担当していただいた。



2つのお茶の商品のパッケージには、私たちが作成した「エシカル商品を説明したWebページ」へ導くQRコードを掲載した結果、現在まで16,599件のアクセスがあった。



(3) 災害復興支援を目的とした栗を使った商品「ランチパック、タルト」

被災した山江村特産の栗を使って山崎製パン株式会社と共に「ランチパック」と「タルト」を企画、販売した。この商品は1個の売上につき1円が被災地に寄付される商品である。パッケージには観光業の支援のため、人吉球磨地域の観光情報のWebページへのQRコードを掲載した。



1袋あたり1円を被災地に寄付 致します。

人吉球磨地域の観光情報はここから！
熊本県観光連盟
特設サイト

